

21

間伐材を使ったすのこ作り体験

～わくわく農林塾での森林環境教育～

三重県立久居農林高等学校 環境保全コース



寸法をとる 同じ長さになるよう正確に



釘打ちの様子 指を叩かないように気をつけて



仕上げはサンドペーパーで きれいに仕上げる



間伐や森林の機能について 熱心に聞く児童

ねらい

- ・教えることを通して森林・林業や環境について理解を深め指導性を高める
- ・地域の小学生との交流を通してコミュニケーション能力や社会性を高める

取組内容

久居農林高等学校では、専門的に学んだ知識や技術を活かし、生徒が地域の子どもたちに教える「わくわく農林塾」を実施しています。

環境保全コースでは間伐材を使ったすのこ作り体験を行いました。まず、作り方や道具の使い方を説明し、小学生と高校生がペアになって作業を始めました。作業中は安全管理を徹底し、分からないところがあればアドバイスや作業補助を行いました。最初は戸惑いながらの作業でしたが、時間が経つにつれて打ち解けることができました。作業を安全に楽しく進め、全員が立派なすのこを完成させることができました。完成後は、ポスターを使って森林の働きや機能、間伐の目的や間伐材の活用などについて説明しました。間伐材を使うことが森林や環境を守ることにつながることをこの体験を通して伝えることができました。

内容	林業系専門高校生による小学生への木工体験教室
時間	2時間(2回)
場所	木材加工実習室、森林科学実習室
対象	久居農林高等学校環境保全コース 2年生 28人 津市立誠之小学校 5年生 58人
講師	久居農林高等学校 環境保全コース教員

【先生のコメント】「教わる」立場から「教える」立場になることで、伝えることの難しさや、上手く伝わった時の喜びを感じることができました。すのこ作り指導やポスター説明を通して、これまでに学んできた知識や技術を活かすことができ、大きな自信につながりました。